

検討体制

ICT街づくり推進会議

(検討事項)

- 地域実証プロジェクトの推進・フォローアップ
- 成功モデルの普及・展開 等

(オブザーバ)

- 内閣官房情報通信技術（IT）総合戦略室、経済産業省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省

普及展開WG

(検討事項)

- 成功モデルの普及展開方策
- ICT街づくり共通プラットフォームの仕様 等

(主査) <敬称略>

- 徳田 英幸（慶應大学）

共通ID活用WG

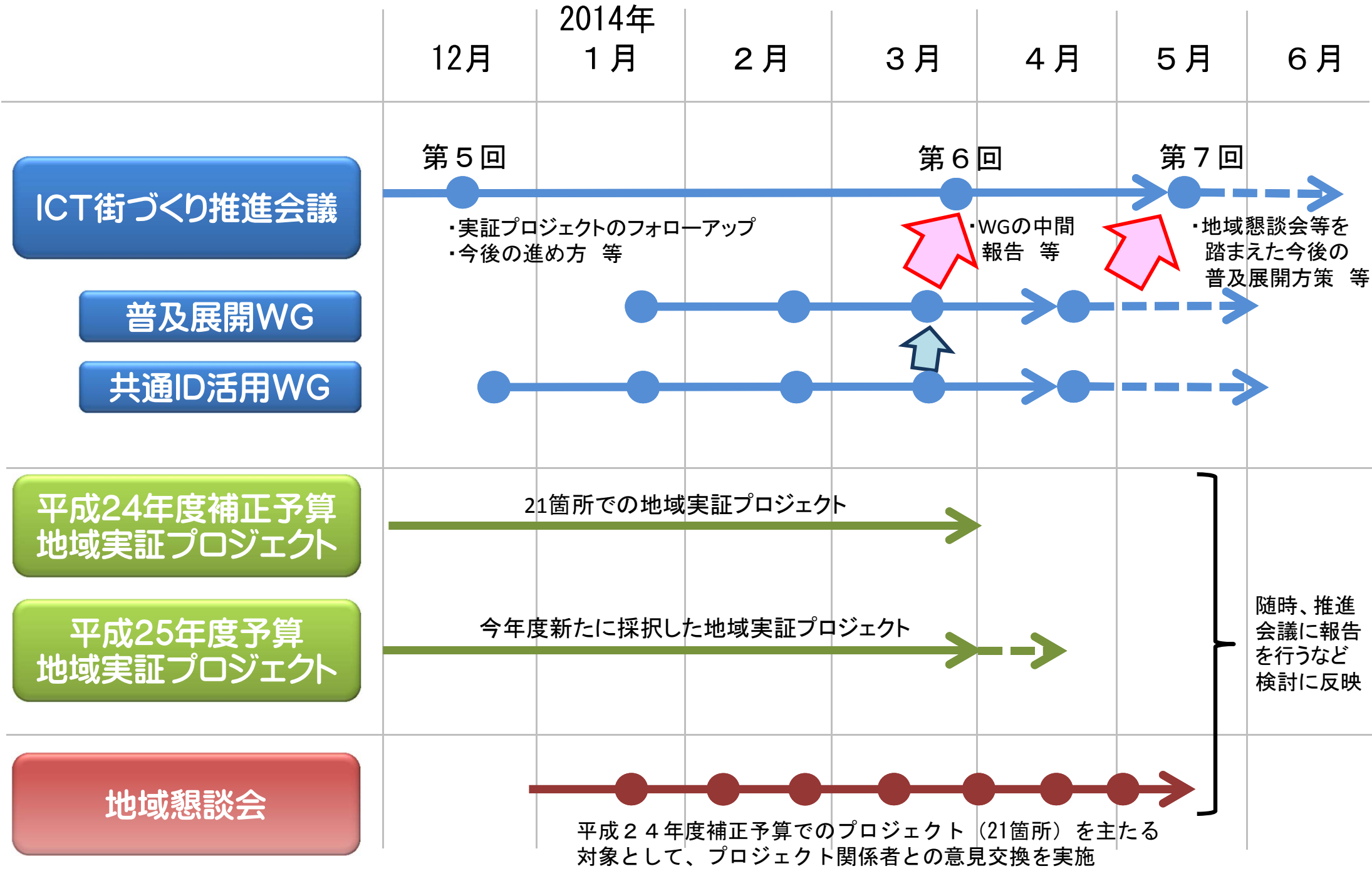
(検討事項)

- 共通IDの活用推進方策 等

(主査) <敬称略>

- 須藤 修（東京大学）

検討スケジュール



地域懇談会の進め方について

開催目的

地域懇談会は、ICTを街づくり推進会議（以下「推進会議」という。）の構成員が、ICTスマートタウン実証プロジェクトの実施状況を視察するとともに、街づくりにおいて重要な役割を担う地域住民、地域経済界や地方自治体等の街づくり関係者との意見交換を通じ、同関係者の声を踏まえた検討を推進会議で行うことを目的とする。

主な意見交換事項

- (1) ICTスマートタウン実証プロジェクトの取組の状況
- (2) プロジェクトの推進にあたっての課題
- (3) ICTを活用した街づくりにおいて国に期待する役割
- (4) ICTを活用した街づくりに関する将来展望 等

検討スケジュール、進め方等

- 地域懇談会は、平成26年1～5月頃を目途として、ICTスマートタウン実証プロジェクトの実施地域において開催する。特に、平成25年6月に採択した21プロジェクトを主たる対象として、効率的な実施に努める。
- 実施場所の選定においては地域バランスに配慮する。
(例：北海道、東北、関東等の地域ブロック毎に一箇所ずつ選定し、積極的に近隣自治体の参加も得ながら、普及展開を見据えた意見交換を実施。)
- その他、地域懇談会の運営に必要な事項は、地域懇談会参加者及び推進会議構成員の都合等を踏まえ、座長が定める。
- 地域懇談会の結果は、適宜、推進会議に報告を行う。